

IBM Cloud for VMware Solutions

新規・既存の VMware ワークロードを
簡単かつ安全にクラウド環境に拡張。
自社に適した「VMware Cloud」を実現する
IBM Cloud for VMware Solutions

概要

VMware 環境を運用中の企業ユーザーが、ビジネスの戦略的優位性を獲得するにはどのようなクラウド・プラットフォームが必要でしょうか? IBM Cloud for VMware Solutions なら、現在のオンプレミスの VMware 環境と同じツールを利用して、シームレスにリソースを拡張したり、オンプレミスと同じ機能を継続して活用することができます。さらに本資料では、クラウド・サービス利用によるコスト面でのメリットやクラウド・インフラストラクチャー利用の優位性にも焦点を当てますので、新規および既存の VMware ワークロードを IBM Cloud へと移行し、ハイブリッド・クラウドのアーキテクチャーへと進化していくメリットを理解することができるでしょう。

仮想化とは

仮想化とは、ある対象について、物理的にではなくソフトウェア・ベースの（つまり仮想的な）表現を作るプロセスです。VMware は、仮想化技術ソリューションにおける業界リーダーであり、フォーチュン 500 にランクインする企業の 100% が選択するインフラストラクチャー・プラットフォームです。VMware は、サーバー、ストレージ、ネットワーキングの仮想化を可能にするクラウド・ベースの製品群と、管理および自動化の追加機能を提供しています。これにより IT 部門は、固定的なサーバーおよびネットワーク・インフラストラクチャーをダイナミックな仮想化リソース・プールへと転換できるようになり、常に変化する企業のニーズに応じてオンデマンドでのプロビジョニングが可能です。

ハイブリッド・クラウドとは

ハイブリッド・クラウド実装は、オンプレミスまたはコロケーションのインフラストラクチャーと、クラウド・プロバイダーがホストするインフラストラクチャーとの両方でワークロードを実行することが特徴です。既存の投資を利用しながらパブリック・クラウドの持つ最大の俊敏性と柔軟性を得られるというメリットがあります。

では、こうしたリソースすべてが長年使用してきたツールでそのまま管理できるとしたら、どうでしょう？これが「VMware on IBM Cloud」です。VMware インフラストラクチャーを IBM クラウドに拡張することにより、容量の拡大またはデータセンターの統合、災害復旧環境の構築、セキュリティとコンプライアンスの主要な目標達成などの重要なニーズに対応できます。

クラウドをお勧めする理由

素早く拡張する必要があり、オンプレミスでは得られない俊敏性を求めるユーザー、あるいは単純に古いロケーションまたはハードウェアを廃止したいユーザーにとって、クラウドの採用には大きなメリットがあります。これらのメリットを検討し、IBM Cloud for VMware Solutions を使用することでクラウドへの移行がより魅力的になる領域について見てみましょう。

柔軟性: 過剰購入や過小利用を懸念せずリソースを拡大縮小することができます。パブリック・クラウドを利用することで、ユーザー自身のハードウェアを購入する必要がなくなり、オンプレミスの装置のセットアップと保守を管理するために必要だった IT スタッフを減らし、コア業務に集中させることもできます。

クラウドの経済性: 資本的支出を運用支出へと変えます。ハードウェアの更改では、多くの場合、今後 3 年から 5 年で必要となるものに対して適切にサイズ変更が可能となる、先行投資の予算と環境の計画が必要です。

拡張の俊敏性: パブリック・クラウドでは従量課金モデルが採用されており、ユーザー自身のインフラストラクチャーの購入契約や長期契約を結ぶ必要がなく、素早い拡張（および契約）が可能です。

世界的な展開: クラウドでは、必要な地域にワークロードを移行することができます。新しい地域により素早く進出してネットワーク待ち時間を減らすことで、ビジネス要件を満たすことができます。

地理的範囲を拡大するために新しいロケーションを追加する場合も、単に一時的あるいは永続的に容量を増やしたい場合も、クラウドはそれに対応できます。他にも検討すべきクラウドのメリットはたくさんありますが、IBM Cloud for VMware Solutions の具体的なメリットと、このオフリングの新機能について紹介しましょう。

IBM Cloud for VMware Solutions をお勧めする理由

まずは、IBM Cloud for VMware Solutions が重要である理由と、このソリューションが企業のお客様の状況をどのように変えるかについて説明します。長年にわたり 70% 超の市場シェアを有する VMware は、企業向けハイパーバイザー市場のトップ企業です。その市場でのリーダーシップは変わっていません。VMware 環境は従来、お客様所有のデータセンターまたは共有のコロケーション・データセンターにおけるオンプレミスでの実行に限定されていました。ライセンスは、クラウドの消費には向かない長期 ELA で購入されていました。さらに、パブリック・クラウド設定での VMware 製品の執行は、個々のサービス・プロバイダーが提供するサービスに限定されており、多くの場合はデータセンター内のワークロードと互換性のない、より小さな非互換実装環境に限定されていました。そのためお客様は、こうした環境で既存の VMware ライセンスを使用することができませんでした。

しかし IBM と VMware との提携により、クラウド向きの月額サブスクリプション・モデルで、vSphere と vCenter のフル・オプションを含む VMware ライセンスを使用できるようになりました。これにより、互換性の面やクラウドの俊敏性が向上したという点を筆頭に、様々な理由で状況が一変しました。さらにお客様は、ライセンス持ち込みオプションにより、IBM クラウドで既存の VMware ライセンスを使用できます。

IBM クラウドは、セキュアなシングル・テナント実装環境を持つ必要のあるお客様にぴったりのベア・メタル・サーバーの提供に特徴があり、VMware ワークロードに最適な環境です。これは、マルチ・テナント・クラウドでは稼働できない企業のお客様全てにとってメリットがあります。

弾力性を得るのにコントロールを犠牲にする必要はありません

クラウド戦略を採用することで、弾力性がコントロールかの選択を迫られるべきではありません。IBM Cloud for VMware Solutions なら、企業が必要とする俊敏性を手にするために、すでに確立された信頼性やうまく機能しているインフラストラクチャーを手放す必要はありません。

IBM Cloud for VMware Solutions を使用すれば、お客様は vSphere を使用して開発されたツール、機能、スキル・セットを使用し続けながら、同じスキルを IBM Cloud に展開することができます。新しいツールのリトレーニングも、サイロ環境の構築も、このクラウド環境の保守と運用のために新しいスタッフを雇って研修することも必要ありません。何より、IBM Cloud for VMware Solutions はお客様の既存の VMware 環境と互換性があるため、使用する環境を再設計する必要がないのです。

グローバルなクラウド・プラットフォームに、必要な高性能サーバー、ネットワーキング、ストレージをオンデマンドで与えることで、IBM Cloud は企業が必要とする弾力性を、これまで培ってきた IT 運用のノウハウの書き換えなしに提供します。IBM Cloud により、IT 部門は現状のスキル・ノウハウを維持したまま既存の VMware プライベート・クラウドを拡張可能なハイブリッド・クラウドへと転換できます。

コントロールは完全にお客様の手元にあります。

IBM Cloud で VMware を実行するメリット



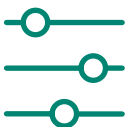
VMware ワークロードとの互換性:

多くのパブリック・クラウドの場合、別のハイパーバイザーや不明な API に変更することが必要ですが、vSphere と互換性のある IBM Cloud の VMware ソリューションは、他の VMware 環境と互換性があります。そのため、リトレーニングも、再設計も不要で、非互環境のサイロも増えません。



セキュリティ

多くの場合パブリック・クラウドは、マルチ・テナント・インフラストラクチャーや共有ストレージ上で稼働するため、危険性が高いとみられます。しかしこれは IBM Cloud for VMware Solutions には当てはまりません。シングル・テナントのサーバーとストレージ上で稼働するため、ユーザーの必要なセキュリティとコントロールが手に入ります。



コントロールの維持

多くの人は、クラウドに移行するということはコントロールを失うことと同じだと考えています。繰り返しになりますが、IBM Cloud for VMware Solutions なら、vCenter のフル・アクセス権限があるため、ユーザーはコントロールを維持することができます。vCenter の同じ画面に収まったこの環境は、データセンターで作動しているように感じられるでしょう。ちょうど、IBM の相互接続された多数のセキュアなデータセンターのネットワーク上で実行されているだけの別のロケーションのようです。こうしたデータセンターが、簡単な操作で、世界的な展開と相互接続性を実現します。

IBM Cloud for VMware Solutions ポートフォリオ

選択できる VMware Solutions ポートフォリオのオプションを以下に示しますが、このオプション・リストは増え続けています。カスタム・ビルド環境、自動化された事前構成バンドル環境、災害復旧環境のいずれであっても、選択できるオプションがいくつかあります。

IBM Cloud for VMware Solutions 概要

VMware Cloud Foundation on IBM Cloud

- フル・スタックの VMware 仮想化インフラストラクチャー。
- シングル・テナント・インフラストラクチャー上の vSphere、NSX、vSAN と SDDC Manager により、IBM Cloud 上の優先参照アーキテクチャーを自動で迅速に繰り返しデリバリーすることができます。
- この優れたオフリングは、4 台以上のノードのソリューションで提供されることで、どのような厳しい要求にも対応可能です。

VMware vCenter Server on IBM Cloud

- vCenter Server では、接続ストレージ・オプションにより、vSphere がベア・メタルに自動でインストールされます。オプション機能には、NSX およびその他のストレージ・オプションがあります。
- このソリューションは最低 2 台のノードで提供され、ニーズに合わせて素早く拡張できます。この優れたオフリングは、4 台以上のノードのソリューションで提供されることで、どのような厳しい要求にも対応可能です。

VMware vSphere on IBM Cloud

- 完全な柔軟性または構成コントロールを求める場合は、IBM の「Build-Your-Own」ソリューションが最適です。
- 特定のバージョンの vCenter でも、完全なライセンス個別選択でも、お客様は必要なものを構築して希望するサーバーを選択することができます。

エコシステム・パートナーシップ

Zerto on IBM Cloud による災害復旧

- Zerto は仮想化環境向けの災害復旧ソリューションの業界リーダーであり、オンプレミスまたはクラウドでの VMware 環境向けにこのソリューションを提供しています。
- 調整可能な RPO および RTO のオプションにより、VMware 環境の高速レプリケーションが可能です。
- Cloud Foundation バンドルまたは vCenter Server バンドルのいずれかで提供されます。

IBM Cloud Secure Virtualization (Intel & HyTrust) によるデータ保護とコンプライアンス

- セキュリティー、コンプライアンス、データ保護は、クラウドを採用する企業にとって重要な課題です。IBM は Intel および HyTrust と協力し、ソリューションを設計しました。
- IBM Cloud Secure Virtualization は、データのジオフェンスをマイクロチップ・レベルまで行う Intel TXT テクノロジーを活用します。HyTrust DataControl and CloudControl ソフトウェアでは、高度な暗号化、データ保護、コンプライアンスのモニタリングを実行できます。この組み合わせにより、セキュリティーのニーズに対応し、お客様は GDPR に備えて監査リスクを最小限に抑えることができます。
- Cloud Foundation バンドルおよびプロフェッショナル・サービス・ビルドで提供されます。

Veeam on IBM Cloud によるバックアップと複製

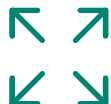
- アプリケーションとデータを数分以内に高速復旧します。
- 目標復旧時点 (RPO) と目標復旧時間 (RTO) を低く抑えるためにデータ損失を回避し、災害復旧が合理化されています。自動化されたバックアップとレプリカの復元可能性テストにより、復元可能性が検証済みです。
- バックアップでは、実稼働環境の独立したコピーが、テスト、トラブルシューティング、トレーニング用に自動的に作成されます。仮想環境を完全に可視化し、バックアップやアプリケーションのパフォーマンスに影響を及ぼす可能性のある見えない問題をモニターしてアラートを出します。

各ソリューションは、完全なセルフ・サービスからフル・マネージドまで、デプロイメントと管理の幅広いオプションで利用できます。これらのバンドルは、インフラストラクチャー、ソフトウェア、サポートがすべて月額サブスクリプション価格に含まれています。長期契約は必要なく、いつでも拡大縮小が可能です。

お客様は、月額サブスクリプションを支払って VMware ライセンスを利用することも、既存の ELA からご自身のライセンスを持ち込むこともできます。IBM Cloud からライセンスを利用する場合、ライセンスは月額サブスクリプションで提供され、物理 CPU ごとに非常にお得な価格で課金されます。

これらのオプションはすべてベア・メタル・サーバーだけで提供され、完全にシングル・テナントです。

代表的な IBM Cloud for VMware Solutions のユース・ケース



容量拡張

ワークロードを IBM Cloud for VMware Solutions へとバーストすることで、リソースの制限に迅速に対処することができます。



データセンター集約

レガシー・インフラストラクチャーから、自動化され一元管理された、ソフトウェア定義のデータセンターへと集約します。



災害復旧と事業継続性

オンプレミスおよびクラウドのいずれでも、大規模災害の発生時にはお客様の環境を保護する必要があります。



開発とテスト

IBM Cloud for VMware Solutions は、迅速なアプリケーション開発やテスト・サイクルのサポートに必要な俊敏性、拡張性、セキュリティーを提供します。定期的な実験環境、あるいは本格的な開発環境のいずれでも、IBM Cloud for VMware Solutions はお客様のニーズに対応できます。

始めましょう

IBM Cloud への VMware インフラストラクチャーのデプロイを今すぐ始めましょう。

ibm.com/cloud-computing/jp/ja/ibm-vmware.html にアクセスするか、0120-550-210 (平日9:00~17:00、識別コード: Cloud) までお電話ください。